

鳥取大学大学院医学系研究科生命科学専攻博士前期課程教育に関する三つの基本方針

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生命科学専攻博士前期課程では、生命現象の基本原理の探究や疾患の原因解明を通じて新時代の医学の発展に貢献できる人材の育成を目指します。この教育目的を踏まえ、学生が所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに修士（生命科学）の学位を授与します。

1. 広い視野と深い学識を有し、生命科学の分野における専門的知識・技能を身につけ、生命科学領域の高度職業人の能力や、教育・研究者へ進むための基礎的能力を有している。
2. 生命や医療に関する高い倫理観を有し、人類、社会及び学術の発展に貢献することができる。
3. 生命や医療に関する課題を発見し解決するための、国際的な広い視野を備えた論理的な思考力、独自の発想力及びコミュニケーション力を有している。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

生命科学専攻博士前期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程・教育内容

生命科学に関する深い学識及び疾患とその治療に関する研究や技術開発に必要な基礎技術を習得できる専門教育科目とともに、医学関連領域についての広い視野を身につける共通科目等による体系的な教育課程を編成します。

生命や医療に関する研究遂行に必要な高い倫理観を身につけるための科目を配置します。

2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業を通じて、高度な知識・技能の効率的な修得を目指します。

専門性の異なる複数の教員の研究指導により、高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力の修得を目指します。

3. 学修成果の評価

研究科の定める成績評価基準に基づき、厳格な学修成果の評価を行い、研究科の定める学位論文審査基準に基づく修士論文の審査及び試験を実施します。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します

鳥取大学大学院医学系研究科生命科学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生命科学専攻博士後期課程では、高い専門性と倫理観を備えた生命科学・医学研究を担う研究者の育成、および高度な専門性を求められる職業人の養成という教育目的を踏まえ、学生が、所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに博士（生命科学）の学位を授与します。

1. 豊かな学識を有し、生命科学・医学分野の高度な専門的知識・技能を身につけ、自立した研究者としての独創的な研究遂行能力または高度な専門性が求められる職業に従事する卓越した研究能力を有している。
2. 社会的責任感に基づく高い倫理観を有し、教育や研究における指導的役割を担い、人類、社会及び学術の発展に貢献することができる。
3. 生命科学・医学とその関連分野を俯瞰する広い視野を持ち、これらが直面する様々な問題に対処できる専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を有し、専攻分野の研究を国際的に先導することができる。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

生命科学専攻博士後期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程・教育内容

生命科学・医学分野の豊かな学識と技能の習得及び関連領域を広く俯瞰する視野を身につけるため、専門科目と共通科目により専門的、体系的な教育課程を編成します。

生命科学や医学の分野で重要となる社会的責任感に基づく高い倫理観を身につける機会を提供します。

生命科学・医学の科学的思考に立脚し、国際的な視野に立ち、当該分野におけるニーズや問題について自ら課題を発見し教育・研究を遂行できる能力を身につけるための科目を配置します。

2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業及び学内外の先端研究者による講義・セミナーを通じて高度な専門知識を習得します。

専門性の高い複数教員の研究指導により、専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を備え、自立して独創的研究を遂行できる能力を育成します。

3. 学修成果の評価

研究科の定める成績評価基準に基づき、厳格な学修成果の評価を行い、研究科の定める学位論文審査基準に基づく博士論文の審査及び試験を実施します。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。